



概要

日高町は、平成18年に旧日高町と旧門別町が飛び地合併により発足した町であるが、広い行政面積を有し中心部に市街地がある他は集落が分散しており、バスの運行系統についても合併前の系統を踏襲したままであることから、農村部における運行効率が低く、バス事業者の赤字が増大している。さらに官民の各種バスが併存した非効率な運行となっているため、早期に地域全体の公共交通のあり方の検討が課題となっている。このため、バス路線の再編を行うことにより、利便性・効率性の高い交通体系構築の調査検討を実施する。

地域公共交通の現況

日高地区

- ・道南バス(株) (地域内1路線、都市間1路線)
- ・町営バス(市街地循環及び地域間3路線)
- ・占冠村営バス(1路線)

門別地区

- ・JR日高本線(富川駅、日高門別駅、豊郷駅、清島駅、厚賀駅)
- ・道南バス(株) (地域内5路線、都市間1路線)
- ・スクールバス(6路線)・町営温泉バス

地域公共交通の課題

- ・官民の各種バスが併存しており非効率
- ・高齢者等の生活交通の確保
- ・スクールバス等の有効活用

調査の主な内容

- ・現況交通実態調査
- ・利用者ニーズ把握調査(アンケート調査)
- ・町営バスの路線再編に係る試験運行

策定する地域公共交通総合連携計画の構想(予定)

- ・町営バス等の路線再編
- ・スクールバスへの一般住民の混乗
- ・民間路線バスと町営バスの連携
- ・日高地区と門別地区を結ぶ路線の構築



日高町地域公共交通活性化協議会 調査事業の取組状況

主な調査の実施内容

現況交通実態調査

- ・町内のバス運行主体を対象に、運行状況、利用実態等の把握を目的としたヒアリング調査を実施。(H21.6.16・22)
- ・路線バス、町営バス、温泉バスの利用実態調査(H21.7.5~10)及びバス停留所・バス待合所の現況調査(H21.7.5~12)を実施。

利用者ニーズ把握調査(アンケート調査)

- ・バス路線の再編が考えられる地域約2,100世帯を対象に、生活移動の実態、バス依存度、今後のバスに対する意向等の把握を目的としたアンケート調査を実施。(H21.7.10~27)

町営バスの路線再編に係る試験運行

- ・町営バスの運行効率化を図るため、千栄線の一部区間及び岩内ダム線においてデマンド運行方式による試験運行を実施。(H21.12.7~13)

その他の調査等

- ・今後のバス再編方針のあり方に係る住民との意見交換会を実施。(日高地区:H21.12.21、20名参加、門別地区:H22.2月)

協議会開催状況

5回開催

分科会等開催状況

1回開催(分科会)

回数は平成21年度
未までの開催予定

予定している連携計画の内容

デマンド運行方式の導入(実施主体:日高町、自治会等、実施時期:H22~)

- ・日高地域及び門別地域住民の移動の足確保やバスの運行効率化を図るため、現在運行している路線バス・町営バスについてデマンド運行方式を導入。H23の本格運行に向け、H22に実証運行を実施。

ダイヤの見直し(実施主体:日高町、実施時期:H22)

- ・日高地域で運行しているスクールハイヤーと町営バスの近接しているダイヤを改善し運行効率化を図るため、町営バスのダイヤ改正等を実施。

日高地域・門別地域を結ぶ路線の充実化(実施主体:日高町、実施時期:H23~)

- ・両地域を結ぶバス路線の充実化を図り、両地域にある温泉、パークゴルフ場、病院等の主要施設の相互利用による地域間の交流促進を図る。

自己評価のポイント

利用実態調査、アンケート調査、試験運行、住民意見交換会等により必要な調査を行うとともに、法定協議会において分科会の開催も行いながら合意形成を図っている。

二次評価の方向

次に掲げる点についてアドバイスする。

- ・町内の交通体系全体のあり方をグランドデザインし、路線バス、町営バス、スクールバス等の役割分担を明確にした上で連携計画を策定すること。
- ・門別地域におけるデマンド運行方式の導入に当たっては、既存の路線バスの取扱い(廃止の適否等)の明確化を、日高地域 - 門別地域を結ぶ路線の充実化に当たっては、既存の路線バスとの整合等を、それぞれ検討すること。
- ・自立的かつ継続的な事業となるよう、公共交通利用促進に向けた取組みの実施も検討すること。